【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【公開番号】特開2009-74951(P2009-74951A)
【公開日】平成21年4月9日(2009.4.9)
【年通号数】公開・登録公報2009-014
【出願番号】特願2007-244669(P2007-244669)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｍ　13/02　　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　15/38　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｍ　13/02
Ｆ１６Ｈ　15/38

【手続補正書】
【提出日】平成22年10月19日(2010.10.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
例えば、上記第一アクチュエータ２７、２７の各油圧室３０ａ、３０ｂの差圧を、上記一方（後方、右方）のキャビティ３８ｂの各パワーローラ６、６が増速側（high側）に傾転する方向に変化（変位）させると、上記動力は、図４に示す様に、回転軸２２、一方（後方、右方）の外側ディスク２５ｂ、一方（後方、右方）のキャビティ３８ｂの各パワーローラ６、内側ディスク２６ｂ、２６ａ、他方（前方、左方）のキャビティ３８ａの各パワーローラ６、他方（前方、左方）の外側ディスク２５ａ、上記回転軸２２の順に循環する。これに対して、上記第一アクチュエータ２７、２７の各油圧室３０ａ、３０ｂの差圧を、上記一方（後方、右方）のキャビティ３８ｂの各パワーローラ６、６が減速側（low側）に傾転する方向に変化（変位）させると、上記動力は、図５に示す様に、上記回転軸２２、他方（前方、左方）の外側ディスク２５ａ、他方（前方、左方）のキャビティ３８ａの各パワーローラ６、内側ディスク２６ａ、２６ｂ、一方（後方、右方）のキャビティ３８ｂの各パワーローラ６、一方（後方、右方）の外側ディスク２５ｂ、上記回転軸２２の順に循環する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
上述の様な本例の試験装置によりトロイダル型無段変速機１９ａの性能評価（試験運転）を行なう場合には、駆動源２３により回転軸２２を回転駆動しつつ、上述の様にそれぞれのキャビティ３８ａ、３８ｂで各パワーローラ６、６の傾転角を互いに異ならせ（微小な差を生じさせ、差が生じる方向に変化させ）、上記トロイダル型無段変速機１９ａ内で動力を循環させつつ運転する。又、この様な試験運転中は、計測器３６により各部の状態量（Ｐ：油圧、Ｎ：回転速度、Ｔ：トルク）を測定しつつ、所望の運転状況を造り出す。尚、上記トロイダル型無段変速機１９ａを循環する上記動力の大きさは、例えば上記一方（後方、右方）のキャビティ３８ｂの各パワーローラ６、６を支える第一アクチュエータ

２７、２７の変化量（差圧の大きさ）に応じて変化させられる。又、上記トロイダル型無段変速機１９ａを通過する動力の大きさは、例えば上記回転軸２２に取り付けた歪ゲージの歪量から、或は、上記第一、第二各アクチュエータ２７、２８の油圧室３０ａ、３０ｂ同士の間の差圧から、それぞれ求める事ができる（或は推定できる）。